

1	会議名	令和4年度 第2回総合教育会議 会議録
2	開催日時	令和5年2月8日(水) 午前10時00分～午前11時20分
3	開催場所	3階 31・32会議室
4	出席者	市長 福田 良彦 教育長 守山 敏晴 教育長職務代理者 廣田 登志子 教育委員 村尾 利勝、竹田 千恵、渡邊 博明
5	欠席者	なし
6	説明のため出席した者	教育次長 丸川 浩 学校教育課長 林 隆之、主幹 田村 幸恵 青少年課長(教育センター所長) 倉本 敦 文化財保護課長(岩国徴古館長) 若林 久夫 生涯学習課長(中央公民館長) 岸井 清市 中央図書館長 山本 圭子 科学センター館長 弘中 勝 周東支所長 加藤 勝巳 英語教育推進室長 村中 俊一郎、施設班長 櫻田 和宏 文化スポーツ課長 遠藤 克也
7	事務局	教育政策課長 仁田 誠彦 政策班長 大黒屋 誠、政策班 村上 葵 政策企画課長 賀屋 和夫
8	協議事項	(1) 岩国市教育基本計画を岩国市教育大綱に位置付けることについて (2) 令和5年度の主な取組(教育関係施策)について
教育政策課長		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定刻になりましたので、令和4年度第2回岩国市総合教育会議を開催いたします。なお、本日の会議の終了予定時間は12時としておりますので、御協力をよろしくお願いいたします。それでは、開催に当たりまして、福田市長に御挨拶をお願いします。</li> <li>・皆さん、おはようございます。令和4年度第2回岩国市総合教育会議に御出席いただきありがとうございます。この総合教育会議は、平成27年5月に第1回目の会議を開催し、今回で16回目になります。本日は、令和5年度の教育関係施策の主な取組を中心に意見交換を行いたいと思います。来年度に実施いたします主要事業につきまして、皆様と十分な意思疎通を図り、同じ方向性をもって教育行政を推進していきたいと考えていますので、本日もぜひ忌憚のない御意見をお伺いできればと思いますので、よろしくお願いいたします。</li> </ul>
市長		

教育政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• それでは、議事の進行につきましては岩国市総合教育会議運営要綱第4条第3項により、市長にお願いいたします。よろしくをお願いいたします。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• それでは、お手元に配布しております次第に沿って協議を進めていきたいと思っておりますので、御協力をお願いします。</li> <li>• まず議題(1)「岩国市教育基本計画を岩国市教育大綱に位置付けることについて」協議しますので、説明をお願いします。</li> </ul>
教育政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• それでは、御説明いたします。</li> </ul> <p>本日は、岩国市教育基本計画と岩国市教育大綱を一本化することについて御承認をいただきたいと考えております。</p> <p>教育の振興のための施策に関する基本的な計画である教育基本計画につきまして、本市の計画の計画期間が令和4年度までであることから、令和5年度から令和9年度までの5年間の計画を新たに策定中としております。また、これとは別に、学術及び文化の振興に関する総合的な施策として「岩国市教育大綱」が策定されております。この度の基本計画の改訂に伴い、市長が策定している「岩国市教育大綱」と教育委員会が策定している「教育基本計画」を一本化したいと考えています。文部科学省の通知では「教育基本計画をもって、教育大綱に代えることと判断した場合は、教育大綱を策定する必要はない。」とされております。地方教育行政の組織及び運営に関する法律に定める「教育等に関する総合的な施策の大綱」と、教育基本法に基づき策定する「教育基本計画」とは、それぞれ別の根拠法令に基づき策定しているものですが、共に岩国市総合計画の基本目標を目指しており、一本化することにより、市長部局と教育委員会が連携を強化し、同じ方向性を持って教育行政を推進していきたいと考えております。なお、教育大綱で示している文化・スポーツ施策と来年度から市長部局に所管替えとなる文化財保護課及び岩国徴古館の施策についても、計画を一本化することにより、基本計画に掲載し進めていくこととなります。以上のことから、教育計画の策定をもって、教育大綱としても位置付けていきたいと考えております。説明は以上になります。よろしくをお願いいたします。</p>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ただいま説明がありましたが、岩国市教育基本計画をもって岩国市教育大綱に変えることとして、よろしいでしょうか。</li> </ul>
各委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 異議なし。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• それでは議題(2)「令和5年度の主な取組（教育関係施策について）」協議しますので、順次説明をお願いします。</li> </ul>
教育政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• それでは、資料に沿って御説明をさせていただきます。まずは教育政策課です。令和5年度主な取組（教育関係施策）の資料を御覧ください。教育政策課は継続事業が10事業です。</li> </ul>

- ・まず、小学校施設トイレ改修事業ですが、学校施設の衛生環境改善のため、国庫補助を活用し、トイレの改修工事を実施するものです。予算額は2億7,823万8,000円です。工事内容は、温水洗浄便座を有した洋便器化に加え、床、壁、トイレブース、換気設備等、老朽化して更新が必要な箇所について改修を行います。令和5年度は、麻里布小学校及び川下小学校の実施設計、令和4年度に実施設計を終えた愛宕小学校及び灘小学校の改修工事を行います。
- ・次の中学校施設トイレ改修事業は小学校と同様の事業です。予算額は2億982万1,000円です。令和5年度は、灘中学校及び平田中学校の実施設計、令和4年度に実施設計を終えた川下中学校及び通津中学校の改修工事を行います。
- ・次にトイレ簡易改修事業です。予算額は1,000万円です。小・中学校のトイレを簡易的な工事方法により、和便器から洋便器に20基程度の改修をするものです。令和5年度は小学校3校、中学校5校を実施します。
- ・次に小学校空調設備整備事業です。予算額は4,767万8,000円です。学校施設の衛生環境改善のため、こちらも国庫補助を活用し特別教室に空調設備を整備します。令和5年度は、令和4年度に実施設計を終えた高森小学校の整備工事を行います。
- ・次に中学校空調設備整備事業です。予算額は1億2,374万8,000円です。小学校と同様の事業になります。令和5年度は、周東中学校及び美和中学校の実施設計と、令和4年度に実施設計を終えた岩国中学校及び灘中学校の整備工事を行います。
- ・次に、灘小学校屋内運動場改築事業です。予算額は2億7,147万円です。岩国市学校施設長寿命化計画に基づき、灘小学校屋内運動場の改築を行います。令和4年度に実施設計が終了し、令和5年度から令和6年度にかけて改築工事を行います。
- ・次に英語交流センター運営事業です。予算額は4,252万9,000円です。令和4年3月にJR岩国駅東口駅前で運用を開始しました岩国市英語交流センター「PLATABC」において、英語の学びや学び直しの機会の充実を図り、国際交流活動を促進するため、各種イベントや講座を開催し、外国人と市民が自然にコミュニケーションを図れる環境を提供します。令和5年度はセンターの運営委託費、施設維持管理費等を計上しております。
- ・次は、英語教育推進事業です。予算額は4,870万8,000円です。小学校における国際理解教育及び英語教育の推進を図るため、英語を母語とする外国語指導助手、いわゆるALTを配置しております。令和2年度から小学5・6年生は英語が教科になっており、ALTを小学校間で配置展開することにより、パフォーマンステストなどの評価のサ

ポートを効果的に行うなど、より質の高い授業支援を行います。小学校 31 校を 10 グループに分け、10 人の A L T で指導を行います。

- ・次に、国際交流支援員常駐配置事業です。予算額は 6,810 万 4,000 円です。これは財源として再編関連特別地域整備事業の基金を活用いたしまして、中学校における国際理解教育及び英語教育の推進を図るため、英語を母語とする国際交流支援員を全 14 中学校に対し常駐配置いたします。本事業は生徒への語学指導だけではなく、地域への語学指導、国際交流教室等を開催することで、グローバル化により増加する外国人とコミュニケーションを円滑に行う環境を整備し、生徒を含む市民への英語力向上を図り安心して生活できるまちを目指してまいります。国際交流支援員 14 人を配置いたします。

- ・最後に、英語交流のまち I w a k u n i 推進事業です。予算額は 144 万 1,000 円です。日本語や日本文化を大切にしながら、基地を地域資源として捉え積極的に活用し、学校における英語教育の充実や国際交流事業を推進することにより、グローバルな人材の育成を行うことが必要です。本市の特性を活かしながら、英語の学び・学び直しや国際交流が充実した「英語交流のまち」を実現するため、「英語交流のまち I w a k u n i 創生プロジェクト」を推進します。検討会の開催や市主催の関連イベントなどを開催するとともに、市民全体の英語力向上へ向けた取組を推進してまいります。教育政策課からの説明は以上です。

学校教育課主幹

- ・学校教育課です。資料は 3 ページになります。まず小中学校学校給食運営事業です。予算額は 5 億 9,791 万 1,000 円です。平成 30 年度から学校給食運営基金を活用し、市立小・中学校の学校給食費の無償化を実施しております。

- ・次に小中一貫教育推進事業です。これまでは、確かな学力推進事業と小中一貫教育推進事業を別事業として予算計上していましたが、確かな学力推進事業は小中一貫教育を基礎として推進していく事業であることから、2つの事業を一本化して取り組んでいくことにしました。予算額は 241 万 3,000 円です。小中一貫教育を推進するために担当者協議会を開催し、山口大学より指導者を招へいして研修会を行います。また、小中一貫教育の仕組みを生かして児童生徒の確かな学力を育むことを目的に、2つの中学校区を研究校に指定し、様々な事業を実施します。本事業を通して、小・中学校の教職員や関係者が一堂に会し、研修することは大いに意義があり、目的の共有や相互理解が進むことで、子供たちの学力向上につながると期待されます。

- ・次に、小中学校日本語指導支援員配置事業です。予算額は 1,211 万 6,000 円です。日本語が話せない、日常会話程度しかできない軍人・軍属の子供たちに対して、学校への適応を図ることを目的としていま

す。日本語指導支援員は、授業中に当該児童のそばに寄り添って日本語のサポートをしたり、昼休みなどを利用して個別に日本語の基礎基本を教えたりする活動をしており、5人の支援員の配置を予定しています。財源は山口県の再編関連特別地域整備事業の基金を活用いたします。

- ・次に、新規事業の帰国・外国人児童生徒教育推進支援事業です。業務内容については、小中学校日本語指導支援員配置事業と同様ですが、本事業は、小・中学校に在籍する外国人子女の児童生徒を対象とします。予算額は1,072万7,000円で、5人の支援員を配置する予定です。財源は、帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業を活用し、補助率は国が3分の1、県が3分の1となっています。
- ・次に岩国北部地域給食施設整備事業です。岩国北部地域にある小・中学校の給食調理場につきましては、いずれも老朽化していることから、比較的新しい美和西小学校調理場を共同調理場に改修し、北部地域の各学校に対し給食を配送するもので、将来にわたり安心・安全な学校給食を安定的に提供するため行うものです。令和5年度に係る事業の予算額は、2億2,490万円です。
- ・最後に小中学校ICT推進事業です。予算額は6,821万3,000円です。GIGAスクール構想をはじめとした急速な学校のICT化に対応するため、6人のICT支援員が市内全小・中学校を訪問し、ICT機器の活用推進を支援します。また、学習支援ソフトを導入し、児童生徒が主体的に学習を深めていくことができるよう引き続き取り組んでまいります。学校教育課からは以上です。
- ・教育センター・青少年課です。2つの事業について御説明いたします。
- ・1つ目は、自立学習応援プログラム（eラーニング）導入事業についてです。令和3年度より実施していますが、学校に行けなかった時期の学習内容を学び直すことを目的として、教育支援教室に通室してくる不登校児童生徒を対象に、eラーニング教材「すらら」を活用して学びの充実を図っております。予算額は165万4,000円です。
- ・2つ目は、新規事業で教育センター空調設備改修事業です。予算額は337万4,000円です。横山にあります教育センターが開設して20年になりますが、老朽化していることから空調設備を更新するものです。以上です。
- ・生涯学習課及び中央公民館です。まず、『とどける』家庭教育支援事業ですが、継続事業で、主に報償費として298万1,000円を計上しております。この事業は来年度が5年目ですが、現在小学校31校中22校、支援員54人まで拡大しております。課題を抱える家庭や孤立しがちな家庭等を対象に、学校と協働して子育てや家庭の課題に関する相談対応や、情報提供を通じて家庭の自立と課題解決につながる専門

青少年課長

生涯学習課長

機関への橋渡しを行います。また事業の実施に当たり、支援員の資質向上を図るための研修会開催や支援員同士の意見交換の場を年に2回設け、支援員に対してのケアを行っております。さらに関係各課だけでなく、健康福祉部局等の関係機関との連携——具体的には年2回の連絡会議を行うことで、切れ目のない子育て支援、家庭教育支援体制の構築を図ります。

- ・次に、山口県立大学サテライトカレッジです。従来から実施している講座や講演会などに対して、より多様な内容を提供できるように山口県立大学と連携し、講師を派遣していただき実施します。令和4年度におきましては、歴史文学「平家物語」などの講座を市民文化会館小ホールにて開催し、約70人の方に受講いただきました。令和5年度には、同じく歴史文学と山口県の古代史を題材として講座を予定しております。
- ・次に、玖珂こどもの館ピット排水設備設置事業です。当施設のホールは御承知のとおり半地下にあります。そのため、平成30年に75センチメートルの浸水があり、その後も3回の浸水事故が起きております。現在は小型の排水ポンプしかないため、浸水の状況を確認しながら手動で排水をしている状況です。浸水する箇所を特定し、修繕を行うことも検討しましたが、浸水箇所を修繕しても水の流れが変わり、別の箇所から浸水する可能性が高いため、浸水した水を排出するためのポンプ2台の設置を行います。
- ・最後に、中央公民館整備事業です。現在、実施設計と解体工事を行っております。実施設計につきましては、令和5年10月に終了を予定しておりますが、その前に建設金額の積算を行い、9月議会にて予算要求を予定しております。解体工事につきましては、昨年12月から工事を開始し、本年9月に終了する予定です。その後追加の地質調査を予定しています。また建設工事につきましては、令和6年度より行い、令和7年12月に完了し、令和8年度当初の開館を予定しております。以上です。
- ・文化財保護課及び岩国徴古館について御説明いたします。まず文化財保護課につきましては、新規事業の岩国城跡調査事業があります。これは、岩国城の文化財としての位置付けを行うために文化庁と協議いたしまして、発掘調査を中心とした岩国城跡の総合調査を実施いたします。調査にかかる財源概要といたしましては、文化庁から2分の1の補助を受け文化庁373万円、市の一般財源373万円、合計746万円となっております。
- ・次に岩国徴古館です。一つ目は、継続事業の岩国市博物館整備事業です。この事業に関しましては、令和元年度からの岩国市博物館整備基本設計が今年度終了予定です。これに継続いたしまして、令和5年度

文化財保護課長

は岩国市博物館整備実施設計を行うこととしております。実施設計の概要といたしましては、本年度策定する基本設計を基に、施設の配置、規模構造、設備、展示に加え、運営や活用等に関し、現実的な概算を踏まえた形の見える設計となります。また、既存の岩国徴古館、岩国学校教育資料館、由宇歴史民俗資料館、本郷歴史民俗資料館、美和歴史民俗資料館や教育支所所管の歴史資料に関する活用を考慮した整備設定を行う予定しております。

- ・二つ目は、継続事業である怪談話を活用したプロモーション事業です。これは、ふるさと基金の利用であり、令和4年度末に刊行にいたします。「岩邑怪談録」の翻刻・現代語訳を、令和5年度はこの怪談録における怪談話をカード化するとともに、市内の関連施設への設置を行い、まち歩きコンテンツとして活用するものです。予算額は196万6,000円です。以上です。

中央図書館長

- ・中央図書館です。3つの新規事業について御説明いたします。まず、図書館システム改修事業についてですが、これは平成28年度に更新しました現行システムが、令和6年2月にサポート終了となるため、新たにシステムを導入するものです。予算は主にシステムの構築やデータの抽出・移行業務など、委託料として2,553万5,000円、パソコン等備品購入費として1,795万2,000円、その他システム利用料、消耗品費など、合計4,456万円を計上しております。

- ・次に、中央図書館エレベーター改修事業です。平成6年7月に開館しました中央図書館の利用者用と業務用エレベーター2基について、設置から28年が経過しており、今後部品の調達も困難が予想されることから、令和5年度から2か年かけて改修するものです。令和5年度に改修設計業務として委託料に522万5,000円計上しております。また、令和6年度は改修工事費として7,260万円を計上する予定としており、財源として特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用することとしております。

- ・最後に、周東図書館屋根防水改修事業についてですが、昭和57年7月に開館しました周東図書館ですが、老朽化して穴が空いたり亀裂した屋根防水シートから、大雨のたびに雨漏りがしているため、既に改修している書庫部分を除き、改修するものです。予算は、改修設計業務として委託料に158万700円、工事請負費に1,857万3,500円計上しております。財源として、電源立地地域対策交付金を活用することとしております。以上です。

科学センター館長

- ・科学センターです。科学センター展示整備事業といたしまして、27万3,000円を予算計上しております。令和8年度に供用開始予定の新たな科学センターで、学校利用、出前教室等の理科学習に加えて、サイエンスショーや企画展などの科学イベントの開催を計画していま

<p>市長</p>	<p>す。このことから、展示施設の運営状況等につきまして、先進地である高知市の「高知みらい科学館」の視察を予定しております。視察に係る旅費に加えて、現在、検討を進めていただいている新科学センター整備検討委員会の委員への報償費も含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全体の説明が終わりましたので、御質問・御意見がありましたらお願いいたします。</li> </ul>
<p>村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• トイレ改修事業についてお尋ねします。最近、学校訪問に行くと、トイレの状況が非常に良くなっていると感じます。以前は、夏場は臭いがしたり環境状況が悪かったのですが、計画的に多くの予算をとっていただいているので感謝しています、今、どれくらいの割合で改修が進んでいますか。</li> </ul>
<p>教育政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• トイレの整備率ですが、令和5年1月末現在の洋式化率は38.4パーセントとなっております。山口県の平均も本市と同じくらいと思われませんが、全国平均の約6割と比べるとまだ低い状況なので、今後も年次計画的に整備を行っていきたいと考えています。</li> </ul>
<p>村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 東小・中学校や玖珂小学校は新しいのでホテル並みのトイレができていますが、ほかにも、麻里布中学校に行ってみても、トイレ環境が非常に良くなっているのです、全般的に岩国市も進んでいると感じました。今後も充実・発展に努めていただけたらと思います。</li> </ul>
<p>廣田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 英語関係の事業は全部継続ですが、大きな予算が確保されています。最近、P L A T A B Cを利用された一般の方から、「ものすごく感激をした」「とても役に立った」という話をあちこちから聞きました。前回の総合教育会議で、基地の方がどれくらい利用しているのかをお聞きしたら、全体の入場者数は把握しているが、基地からの数は把握していないとのことでした。</li> </ul> <p>先日、岩国青果4団体が山口大島みかんを基地内の小学生に贈り、そのお礼として、基地内の小学生が岩国市歌を英語と日本語の両バージョンで披露されたと報道で知りました。テレビでは歌はあまり聴けませんが、日本人ばかりが英語に接するのではなく、基地の方も岩国の文化に随分興味を持って、市歌を披露するなど積極的に活動されてとても嬉しくなりました。数字で挙がってなくても、それがとてもよく分かりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• もう一点、2月1日号の市報で、「英語があふれるまちいわくに」の特集が組まれていました。交流が浸透しているなということと、11月に開催された錦帯橋芸術祭では、錦帯橋上で岩国市歌を日本語と英語で歌いました。初年度は基地から35人の参加でしたが、今年は70人に増えました。基地側にどのようにアプローチされたのでしょうか。</li> </ul>
<p>文化スポーツ課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 例年のように、M C C Sの関係者に依頼をしており、特に今年度は基</li> </ul>

	<p>地の学校関係から応募が多く、橋上で初めて歌ったと言われた方もたくさんいました。いろんな催し物をこの後もたくさん新規で行います。</p>
<p>廣田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽や文化、芸術など様々な分野を通じて、このように交流ができるといいなと思います。どんどん進んでいると実感しました。</li> </ul>
<p>渡邊委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校の施設について、ここには載っていませんが倉庫が各学校にあると思います。校舎の老朽化に伴い、この倉庫も老朽化して解体したところがあります。そこに入れてたテントなどの備品を、今度は体育館など利便性の悪いところにしまっているようです。そういった事例が結構出ていると聞いているので、トイレも当然ですが、備品等保管する倉庫を要望する学校もあると思うので、その辺も徐々に調査をしていただければと思います。</li> </ul>
<p>教育政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当然、学校で必要な備品の保管場所として倉庫も必要だと思っています。状況を確認しながら、要望があれば検討していきたいと思っています。</li> </ul>
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よくトイレの洋式化はP T A等から要望が挙がってきます。今も倉庫がないと手間がかかるとのことなので、現場の声をよく聞いてほしいと思います。</li> <li>・小中学校トイレ改修事業で、愛宕小、灘小、川下中、通津中で工事を行うということで、かなり工事費も大きいですが、改修内容を教えてください。</li> </ul>
<p>教育政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・便器の洋式化に床の乾式化、自動水洗や洗浄便座等を整備します。基本的には、老朽化が著しく改修が必要なところを対象にトイレの改修事業という形で、併せて洋式化も行っています。</li> </ul>
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は、セミリフォームと言っていましたが、今はトイレを全部変えるということですか。</li> </ul>
<p>教育政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのようになります。比較的新しい、また施設自体がそれほど古くないところにおいて、まだ洋式化がそこまで進んでいない学校については、トイレの簡易改修を行い、全体的な洋式化率を上げていきたいと思っています。</li> </ul>
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の説明の仕方について、工事の内容のビフォーアフターが分かる資料を次から付けてもらえたらと思います。例えば、前回こうだったのが簡易改修でこのように変わりますとイメージ写真を付けられたら、この予算がどのように使われるか分かるので。</li> <li>・先ほど廣田委員がP L A T A B Cのことを言われましたが、聞いた話では、米軍関係者が日本語を学びたいということで、独自に漢字ドリルを持って来て、交流しながら学んでいる方もいるそうです。彼らは彼らで日本語を学びたいので、英語を交えながら、やり取りする場面も増えているそうなので、いろんな活用の仕方があるのかなと思います。</li> </ul>

教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに教え合っているんですね。</li> <li>・資料にはありませんでしたが、P L A T A B Cが3月に一周年を迎えるので、記念イベントを計画しているのですが、いつですか。</li> </ul>
市長	
英語教育推進室長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月19日の日曜日を予定しています。</li> <li>・また近づいたら、教育委員の皆さんにもアナウンスをしてください。</li> <li>・基地内の小学生がみかんのお礼に市歌を歌った件ですが、低学年のかわいらしい子供たちが日本語と英語で歌っていました。基地の音楽の先生がすごく熱心に教えてくださったみたいです。有り難いことです。</li> <li>・次に学校教育関係に移りますが、私からよろしいでしょうか。学校給食運営事業が6億円に迫っていますが、昨今の食糧高騰分があり、岩国市は給食無償化を行っているので、高騰分を市が負担していますが、どれくらい上がっていますか。</li> </ul>
市長	
学校教育課主幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月に給食費を一人当たり小・中学校ともに15円ずつ値上げしておりますので、小学校が270円から285円に、中学校が310円から325円になりました。</li> <li>・中学校は285円のイメージがありました。</li> </ul>
市長	
学校教育課主幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年から285円でしたが、令和4年4月に一度改定をしました。</li> <li>・カロリーの問題で令和4年4月に値上げしています。</li> <li>・物価高騰の前に一度上げて、今回再度値上げしたということですか。しっかりカロリーを保てるように良い給食が出せているということですね。保護者の方は上がった感覚がないと思います。</li> </ul>
教育長	
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方には、給食費は上がったが保護者負担はないという旨の通知はしております。</li> <li>・最初は予算が4.5億円くらいでした。</li> <li>・市報に載せてアピールしたいですね。</li> </ul>
市長	
廣田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育推進事業が継続されて、「子供たちの学力向上につながることを期待されます。」と書かれています。実際に学力は向上されていますか。</li> <li>・学力を図る指標というのが、全国学力調査となるのですが、なかなかすぐには改善が図れていない状況です。</li> </ul>
竹田委員	
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに書いてありますね。下がってはいないですね。</li> <li>・小学6年生と中学3年生が対象になりますが、学年の持ち味があって上がり下がりはありませんが、ほぼ横ばいという形です。</li> </ul>
市長	
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの自治体も皆頑張っていますので。いろんな課題については、研修会を通じて協議しながら、授業改善に取り組んでおります。</li> <li>・山口県や岩国市は学力が低いイメージがあります。</li> </ul>
教育長	
竹田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのイメージを払拭しないといけませんね。</li> <li>・小中学校日本語指導支援員配置事業と、帰国・外国人児童生徒教育推</li> </ul>
市長	
村尾委員	

<p>学校教育課主幹 村尾委員</p>	<p>進支援事業は予算額がほとんど同じですが、米軍の子供たちに対する配置事業ですよ。今、例えば川下小学校や愛宕小学校は多いと思いますが、毎年増えていますか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年対象者は増えております。</li> <li>・外国人と日本人の子と一緒に勉強することは、国際交流の中で良いと思います。最初は、日本語が全く話せないということでこういった支援員の配置をしていると思いますが、大体3年のローテーションで替わられる方が多いと思います。家では、アメリカのホームスクールを別にやっていると聞いていますが、日本文化を体得させたいというアメリカの熱い思いがあって受け入れられていると思うので、やはり今の状況の中で、支援員の役割は大きいと思います。効果はありますか。</li> <li>・御承知のように、受け入れる人数が増加しており、その子だけでなく、学級のほかの子供への影響も考えると、効果は発揮されていると考えております。</li> </ul>
<p>村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人に寄り添って学習するというのではなく、ローテーションを組みながら、その子の語学力に対応しながら支援しているということ。日本語が分からず困っているという話も聞いているので、できるだけ語学力に応じた指導をやっていただきたいと思います。</li> </ul>
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今言われたように、今回新規で挙げた帰国・外国人児童生徒教育推進支援事業については、自分も話を聞いておりますが、そういったニーズが増えてきたので充実しなければならないということで、教育長から県の教育長へ直談判しまして、県の方で5人分予算を付けていただき、3分の1ほど市も負担をして、あとは国と県の割合があります。一応県には、1年で終わるものではないですよということはお伝えしています。少なくとも何年かは継続していただくようにお伝えしていますので、よく確認しておいてください。</li> </ul>
<p>村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートしていただいて、子供たちが日本語に早く慣れることが大切ですから、本事業の充実を図っていただきたいと思います。</li> </ul>
<p>渡邊委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育についてですが、やはりこれまで小・中学校の先生間でほとんど交流がなかったのが、これがあることで個別の生徒の申し送りができたり、小中ギャップの解消につながったと聞いており、有効なことだと思います。ではこれで学力が上がったのかと言われると、村尾委員が言われたように、多国籍の子供——授業内容があまり理解できない子供も当然学力テストを受けるので、なかなか解答を日本語で書くことが難しく、平均点が下がってしまうと聞いたことがあるので、判断が難しいのではないかと感じました。</li> </ul>
<p>竹田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩国徴古館の怪談話を活用したプロモーション事業について、怪談話をカード化するとありますが、これはカードゲームのような要素を含むものですか。</li> </ul>

文化財保護課長	・そうではなく、怪談録本体に文章がざっと出ていますので、簡易化したものをカードにすることを考えています。御指摘いただいたように、ゲーム的なものということであれば、それも踏まえて予算範囲内でできるものはないか考慮してみたいと思います。
竹田委員	・今人気の謎解きなど、ゲームの要素を含めれば興味を持って参加できるかなと思います。
市長	・この「岩邑怪談録」とはどのような内容ですか。
文化財保護課長	・岩国に言い伝えられている妖怪話です。今年冊子ができますのでまたお見せします。
教育長	・各地にあるんですね。
文化財保護課長	・はい。メインは横山地区になります。
廣田委員	・中央公民館が今解体中で、今まで活動していた団体については、改修に伴ってなくなるのではなく、継続できるように力添えをいただいております。先ほど話にありました教育基本計画の中にも、生涯学習関係の施策概要に「社会の変化に対応した社会教育の推進」がありますが、まさにこれを継続しているなどということ、多くの方から御賛同をいただいております。文化団体は、一度解体してしまうと、再度立ち上げるのに大変なエネルギーがいるので、ずっと継続しているのはすばらしいと思います。
文化スポーツ課長	・これに関連して、「岩国市地域活性化イベント支援補助金」がありまして、これは文化スポーツ課になると思いますが、新型コロナウイルス感染症の影響により文化が継続できなかつたので元気が欲しいということで、私の知る限りでも何十団体もの申請があったと思いますが、応募数はいかがでしょうか。もう期限は過ぎましたか。
廣田委員	・2月14日が期限ですが、正確な数字は今持ち合わせておりません。70～80団体は応募があったと思います。また、文化・芸術・スポーツ以外にも、まちづくりの関係で、市民協働推進課に申請があったと聞いております。
市長	・びっくりしました。これで元気になったという話をあちこちから聞いておりますので、とてもすばらしいと思います。
廣田委員	・各自治会等がコロナ禍でできなくなった地域の行事を、上限10万円の予算があるからしっかりやろうと言えるよう、地域の方が使いやすく、再起動が図れるようかなりハードルを下げました。
市長	・皆さん喜んでおられました。
周東支所長	・玖珂こどもの館は、何回やってもステージの下に水が入ってくるのは、止水ができないということですか。水を止めれないから、ポンプを付けて入ってきた水を出すということに変えたということですか。
	・そうです。水を止めることによって、また別の場所から水が沸き上が

市長	るよりは、ピットに水を集めてそこから排水という方が安全だろうという判断に至りました。強制排水ポンプで水路に水を流す予定です。
周東支所長	・これで館内に水が浸入することはないということですか。
市長	・そうです。
青少年課長	・教育センターはもう 20 年経つんですね。空調整備の予算を組まれますが、令和 5 年に設計業務を行って令和 6 年に工事に入るんでしょうけど、工事費の予算や財源はどのように考えていますか。
市長	・今後について現時点では即答できかねます。調べておきます。
文化財保護課長	・文化財保護課の岩国城跡調査事業は、石垣とかを改めて調査するんですよね。
市長	・はい。史跡の指定を受けるためには、この調査をしないとできないので、城跡全体——壊された石垣があるので、それを見て発掘調査を複数年かけてやることになるだろうということを文化庁との話の中で出ております。
市長	・壊れた石垣を直すわけではないんですか。
文化財保護課長	・そのままの状態にしておくので直しません。あくまで調査の段階ですので、どのような状況でそのようになったかというのを調査します。
市長	・調査より先に復元という話にはならないのですか。
文化財保護課長	・調査が終わらないと復元もできませんし、また、史跡となると、どこまで復元してよいか協議する必要があります。
市長	・2月5日の日曜日に、笑点の司会者の春風亭昇太さんの落語会がありまして、観させていただきました。昇太さんはお城が大変好きとのことでした。
文化財保護課長	・「日本最強の城スペシャル」というNHKの番組にも出ておられます。
市長	・昇太さんから事前に岩国城の資料が欲しいということで、資料要求があったと思いますが、私がそれを預かってお渡ししました。すごく深い内容でマニアックでしたので、簡単に説明しておきました。忙しい方ですが、タイミングが合えば見てみたいとのことでした。
文化財保護課長	・現段階で岩国城は史跡になっていないので、まずはこれを史跡化すれば、錦帯橋の世界遺産登録に向けて活用できるのではないかと思いますので、重要視して行いたいと思います。
市長	・また、岩国城は、完全に壊されている石垣と、すぐ直せるような石垣とで別れているので、そういったものを含めた調査になってくると思います。
市長	・中央公民館は、工事が遅れがちですか。
中央公民館長	・基本設計が遅れて若干実施設計も遅れていますが、今の状況でしたら工期が遅れることはないと考えています。
市長	・供用開始はいつからですか。
中央公民館	・完成が令和 7 年 12 月で、供用開始が令和 8 年 4 月からを予定してお

教育次長	ります。
市長	・解体が令和5年10月、次の新築の着工が令和6年度からで、3月議会で契約議案を承認していただく予定です。
教育次長	・令和5年度に着工は全く行わないということですか。
市長	・解体が終わるのが秋になります。解体後に地質調査を行うため、5年度には入れません。
教育次長	・では6年度から7年度にかけて2か年工事ですか。
市長	・はい。令和7年12月までかかります。引っ越しは年明け1月から3月にかけて行います。
中央公民館長	・解体業者は株式会社ケイズですよ。以前、解体に入る際に、特殊機械を持ち込むので見てほしいと言われてましたが、聞いてませんか。
教育次長	・昨日現場に行きました。もう工事は始まっていますが、特殊な機械は見当たりませんでした。
市長	・まだそこまでに至っていないのだと思います。今はアスファルトを剥いだり、樹木の伐採など外回りがメインなのと、エレベーター棟しか手を付けていません。これから本体の解体をする際に使われるのではないかと思います。
中央図書館長	・周りに学校や家もあるので、安全に、なるべくがれきも飛散しないような最新の解体重機を入れたので案内をすることでしたので共有しておきます。
周東支所長	・それと、周東図書館屋根防水改修事業は、経済産業省の国庫補助（電源立地）が財源とありますが、これは当てはまったのですか。
中央図書館長	・該当になるということですか。
市長	・800万円の定額で補助が出ます。以前はもう少しありましたが、だんだん減ってきています。
中央図書館長	・工事費に全額充てるようになります。後は一般財源です。
市長	・防水加工について、今どんどん技術が発達しており、建築住宅課でもメーカーが最新の技術を持ってきて、経費をあまりかけたくありませんが、効果のある防水工事ができるもののパンフレットを持っていますので、よく研究してみてください。
中央図書館長	・建築住宅課に設計と工事をお願いすることになっております。
市長	・科学センターは、黒磯に移ることになっているので、いろんな技術的なものや展示物を持ってきたらいいか視察してもらっていますが、今回はさらにそれを検討するための予算ですか。
科学センター館長	・事業内容にも記載しておりますが、視察地の高知みらい科学館は、実際に小・中学生が科学館に訪れて、単元の理科授業としてカウントができる理科学習を提供しております。令和8年度にオープン予定の新科学センターにおいても、同様の事業を展開したいと考えておりますので、実際にその理科学習がどのような形で運用されているのか、ま

教育次長	<p>た、これも8年度以降に導入を計画しておりますが、サイエンスショーであるとか、大規模な企画展などを視察をして検討させていただくために、計上するものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付け加えますと、明日から私がJAXAと東芝未来科学館へ今後の連携について協議をしに行ってまいります。こういった資料をお借りできるのかなど実務の話をしてきます。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロ生物館も新しい施設に移ってくると思うので、マイクロや宇宙など、いろんな分野で幅広く、かと言って、最先端のものを全て入れると予算やスペースの問題があるので、どこに特化してやるかというのがあります。これを作り込んでしまうと、固定化されてしまうので、次にリニューアルをしたり新しい展示をするっていうのができにくくなるので、なるべくそういった作り込みよりも映像とかバーチャルとか工夫しながら随時企画が展開できるよう考えてください。後は学校との連携があるので、その辺が難しいと思います。</li> </ul>
廣田委員 教育次長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度はいろんな大きな工事が完成するんですね。</li> <li>・財源で使っている合併特例債が令和7年度までなので、それに合わせて作られているものが多いので、完成がちょうど同じくらいになります。教育委員会だけでなく、市長部局もです。</li> </ul>
市長 文化財保護課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩国駅西口の再開発も同じです。</li> <li>・市の新博物館も令和7年度に完成、8年度から運用開始の予定となります。</li> </ul>
市長 村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後は武道館とかですね。</li> <li>・これは県の事業ですよ。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうですね。県になります。確かに8年から9年に完成するものが多いですね。</li> </ul>
廣田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新科学センターができて、道路状況などアクセスに課題があると聞いたのですが、新しく道路はできるのですか。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、南バイパスを南伸する計画があります。道路は科学センター完成までに間に合わず、遅れます。新年度から用地買収に入り、用地買収の進捗によって工事にいつ入れるか決まるので、なるべく早めに成立させて工事に入りたいので、国と県と市で進めていきます。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線路沿いの道もありますよね。あれも一緒ですか。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうです。バイパスだけでなくてもそこに乗らないといけないので、アクセス道の整備計画もあるし、藤生駅の岩国総合高校側の道路を広げようと考えています。線路に並行して、踏切を渡らずに黒磯にアクセスできるようにします。かなり大変な事業です。</li> </ul>
渡邊委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学センターの移転について、企業との連携は聞きましたが、大学との連携はどうでしょうか。</li> </ul>
科学センター館長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新科学センター整備検討委員会の委員長である山口大学名誉教授の三</li> </ul>

渡邊委員	<p>浦先生を通じて、山口大学の理学部や工学部の方などに定期的に参加をしていただいて、科学講座やイベントにもご協力をいただくような話を、口頭でお願いしております。そういった運用については、既に話し合いを進めております。</p>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中・高校生だけでなく、大学生がいると利用する頻度が多くなると思うので、連携をお願いします。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日のテーマにはありませんが、教育長と卒業式でのマスクの着用について話しましたので、教育長から委員の皆さんにもお伝えします。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式について、国の方から正式な通知がまだ出ていませんが、今回の卒業生は入学してから3年間ずっとマスク生活を続けております。今もマスクの強要はしておらず、それぞれの判断によるしておりますが、今年5月には「5類」に引き下げられるということを見据えて、卒業生と先生方においては、式中は会話もないので、マスクなしで対応するというようお願いしていこうと思っております。在校生や保護者につきましては、全体の広さを考えて判断してもらえたらと思います。卒業生は歌を歌ったりしますが、写真も撮られますのでマスクなしで歌えたらなと思っておりますのでよろしくをお願いします。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一応、マスクをしなくていいよということですが、どうしても不安な人は着用してもいいです。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外すことを強要することではありません。ただ先生方が外していないとなかなか外しづらいので、先生方も外していこうという流れになればいいなと思います。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来賓辺りはどうですか。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来賓も外してもらえたら。不安な方は着用していただいて問題ありません。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日、岩国中学校で立志式があり、私も伺いましたが、校長と私と担当の方はマスクを外して実施しました。生徒はやはり着用していました。事前に話をしていないとなかなか抵抗がありますので、校長には知らせて周知してもらおうと思っております。</li> </ul>
渡邊委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川下中学校と川下中学校区家庭教育支援チーム「チームほっとちゃん」が「早寝早起き朝ごはん」という取組を实践しまして、リーフレットを作成して実践結果を報告させていただいております。この活動が、文部科学大臣賞を2月10日に受賞する運びとなりました。</li> </ul>
市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これは直接大臣から表彰を受けるのですか。</li> </ul>
教育次長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そこまで把握しておりません。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おそらく直接だと思えます。</li> </ul>
渡邊委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月1日の中国新聞にも掲載していただきました。詳細は後日、校長が市長表敬に伺うと思っておりますので取り急ぎ御報告いたします。実際に取り組んでみて、これがいかに生徒たちに良い効果をもたらしたの</li> </ul>

	<p>か、新たな気付きがあったのかというところが一番大きなポイントだと思います。川下中学校は昨年度もPTAの取組が文部科学大臣賞を受賞しており、2年連続の受賞となります。</p>
<p>市長 渡邊委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなところから視察に来られるのではないのでしょうか。</li> <li>・お示ししたリーフレットに眠育、食育について詳しく書いてありますのでよろしくお願いします。</li> </ul>
<p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月に由宇中学校もキャリア教育の優良学校として文部科学大臣表彰を受賞しておりますので、併せて御報告いたします。</li> </ul>
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の議題、令和5年度の教育関係施策の主な取組につきまして、皆様から大変貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。今後とも、相互に連携して、教育行政の更なる充実・発展に向け、事業を推進していきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。</li> <li>・それでは、これをもちまして、令和4年度第2回岩国市総合教育会議を閉会します。</li> </ul>